

## 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：大学費 目：情報科学芸術大学院大学費

### 事業名【新】図書館システム更新事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 情報科学芸術大学院大学 電話番号：0584-75-6600

E-mail：c21905@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,470 千円 (前年度予算額：0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	2,470	0	0	0	0	0	0	0	2,470
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

附属図書館のサーバは稼働6年を経過しており、来年度にはサーバOSのサポート期限が切れる。セキュリティ対策を維持・強化するとともに、現在・将来の大学院大学にふさわしい水準の資料データの整備・サービスの提供により、教員学生の調査研究及び教育を支え、本学設置の目的の達成に寄与する。

### (2) 事業内容

図書館システムのセキュリティ対策強化・業務の効率化のため、導入後6年を経過したサーバ機器を更新し、最新OSおよびソフトウェアを導入する(現行サーバのOSはR5.10でサポート終了)。蔵書規模の再検討やインターネット蔵書検索のクラウド化などによりシステムのダウンサイジングを行い、サーバ機を用いない機器構成とする。また、現行システムからのデータ移行および再設定作業、現行機器の撤去作業等を行う。

### (3) 県負担・補助率の考え方

県が設置する大学の図書館の運営であるため、県の負担は妥当である。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	1,496	PC 3 台、周辺機器等、DBソフト
委託料	974	ハードウェア設置・初期設定 390
		ソフトウェア設定・データ移行等 534
		現行機器撤去 50
合計	2,470	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

岐阜県情報セキュリティ基本方針  
情報科学芸術大学院大学情報管理規程  
情報科学芸術大学院大学図書館規程

### (2) 国・他県の状況

近隣公立大学図書館のシステム運営費調査(R4.8)

### (3) 後年度の財政負担

図書館システムの保守及びクラウド型WebOPAC（インターネット検索）の費用として年間550,000円（税込）が必要。

### (4) 事業主体及びその妥当性

事業主体：情報科学芸術大学院大学

附属図書館では大学院大学にふさわしい水準の図書資料整備・データベース利用サービスの提供により、教員学生の調査研究及び教育を支え、本学設置の目的の達成に寄与することを目的としている。当事業により、サービスのより効率的な提供を目指すとともに、必要なセキュリティ水準を維持することができる。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 大学院大学の教員学生の調査研究及び教育を支える図書館システムを安定して運用するために、機器保守業務委託によりセキュリティを強化する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (年平均)	達成率
障害発生回数	0回	1回	1回	0回	0回	1回	100%

○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	現行サーバの稼働4年目。年1回の定期点検を行い、安定稼働を実現した。
令和 3 年度	現行サーバの稼働5年目。年1回の定期点検を行い、安定稼働を実現した。
令和 4 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % 令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ <b>事業の必要性</b>(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)  <small>3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない</small></p>	
(評価)	<p>学生、教職員の研究に資するため、最新の資料を教員・学生に提供する必要がある。また情報科学・芸術の分野に特化した県内唯一の専門図書館であり、一般県民も利用可能(コロナ対策中につきR4.8現在は中止)。</p>
<p>・ <b>事業の有効性</b>(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)  <small>3: 期待以上の成果あり                  2: 期待どおりの成果あり                  1: 期待どおりの成果が得られていない                  0: ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>サーバの安定稼働ができているため、学内での図書館利用には支障がなく学習・研究に常時利用可能である。</p>
<p>・ <b>事業の効率性</b>(事業の実施方法の効率化は図られているか)  <small>2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>機器更新にあたり、システムのダウンサイジングを行い、現行システムより安価の機器の購入、保守契約が可能。</p>

### (今後の課題)

<p>・ <b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b>                  機器の老朽化、OSのサポート期限等により定期的に機器更新・システムの見直しが必要。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・ <b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b></p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	【○○課】